

地域鉄道フォーラム 2022

鉄道を書く



レイルウェイ・ライター種村直樹は、鉄道の旅紀行や評論を数々残しています。
2021年秋、氏の蔵書に触れることのできる「種村直樹汽車旅文庫」が津軽鉄道の津軽飯詰駅に
開設されました。

2022年 **6月11日(土)**



ホームページ

13時～15時 12時30分開場

後日、ホームページより動画配信を予定

会場:東武博物館ホール 東武スカイツリーライン東向島駅下車0分
参加費:無料 ただし、東武博物館への入場料(大人210円)が必要です
募集人員:50名 ホームページ(<https://ecotran.or.jp/>)から予約受付

プログラム

来賓あいさつ 国土交通省鉄道局鉄道事業課長 田口芳郎氏

基調報告 「種村直樹汽車旅文庫の開設」
津軽鉄道株式会社顧問 澁谷房子氏

基調講演 「鉄道を書く」 作家・エッセイスト 茶木 環氏

トークセッション 「鉄道の書き方、書かれ方」
コーディネーター:作家/エッセイスト 茶木 環氏
フォトライター 矢野直美氏
東武鉄道株式会社執行役員広報部長 高月京子氏
鉄道ジャーナル副編集長 鶴 通孝氏



田口芳郎氏
鉄道局鉄道事業課長



澁谷房子氏
津軽鉄道株式会社



茶木 環氏
作家/エッセイスト



矢野直美氏
フォトライター



高月京子氏
東武鉄道株式会社



鶴 通孝氏
鉄道ジャーナル

国土交通省鉄道局後援

一般社団法人交通環境整備ネットワーク主催

プロフィール (敬称略)

田口 芳郎 Taguchi Yoshiro



国土交通省鉄道局鉄道事業課長
1995年運輸省(現国土交通省)入省(鉄道局)。米国留学(ハーバード大学行政大学院)、海上保安庁、総合政策局、鹿児島県企画部交通政策課長、航空局、大臣官房、在米日本国大使館参事官、内閣総理大臣官邸国際広報室内閣参事官、観光庁参事官(外客受入)、国土交通大臣秘書官等を経て2021年より現職。
乗り物、とりわけ鉄道に造詣が深いことで知られる。

基調報告

澁谷 房子 Shibutani Fusako



津軽鉄道株式会社 社長付顧問
1977年津軽鉄道株式会社に入社。総務、経理、企画部門等を担当、管理・企画グループを統括する執行役員を経て、2017年より現職。
社長の右腕として「仮想乗車」などの企画、商品開発の他、津軽鉄道の魅力を広く発信し続ける。津軽鉄道津軽飯詰駅構内「種村直樹汽車旅文庫」開設に尽力。
沿線住民や津軽鉄道を愛するファンからは、親しみを込めて「津鉄のお母さん」と呼ばれている。

基調講演/トークセッション

茶木 環 Chaki Tamaki



作家/エッセイスト
報道キャスター、出版社勤務を経て、執筆活動に入る。鉄道等インフラの形成と文学をテーマに数々の執筆、論評を行ってきており、日本民営鉄道協会広報誌『みんてつ』や『鉄道運輸・整備機構だより』『土木学会誌』での取材・執筆ほか、主な作品に『都市をつくる人々』『文学が映すインフラの光景』『地域鉄道物語』や広島電鉄元社長の奥窪央雄氏・大田哲哉氏の伝記などがある。
現在、(一社)計画・交通研究会理事・広報委員長、東京都事業評価委員会委員、『土木施工』編集委員、日本ペンクラブ会員(会報編集委員)。

矢野直美 Yano Naomi



フォトライター
文筆・写真家として、数々の鉄道紀行文を著し、鉄道の風景、旅先での出会いや感動を読者に伝える。主な作品に、『汽車通学』『ダイヤに輝く鉄おとめ』『鉄道少女百景』『おんなひとりの鉄道旅 東日本・西日本編』『ダイヤに輝く鉄おとめ』などがある。
鉄道をこよなく愛する元祖「鉄子」で、「鉄旅オブザイヤー」審査委員、「タムロン鉄道風景コンテスト」審査委員を務める。

高月京子 Takatsuki Kyoko



東武鉄道株式会社 執行役員広報部長
1994年東武鉄道株式会社に入社。総合企画室、東武ホテル出向、人事部、総務法務部で社長秘書を経験後広報部に配属。報道担当課長、広報部長を経て、2021年より現職。
東武鉄道、東武グループ全般に関する様々な広報業務を担う。
東武鉄道広報誌『マンスリーとーぶ』の愛読者は沿線利用者のみならず数多くの読者を抱む。

鶴 通孝 Tsuru Michitaka



鉄道ジャーナル副編集長
編集プロダクション勤務を経て、1989年に鉄道ジャーナル社入社。
月刊『鉄道ジャーナル』誌の編集業務の傍ら、全国の鉄道事業者に赴いてインタビューや取材をこなし、数多くの執筆を行う。2017年より同誌副編集長。
2012年に国土交通省鉄道局・観光庁の「地域鉄道の再生・活性化等研究会」委員に就任、2019年に『整備新幹線 紆余曲折の半世紀』(成美堂出版)を著す。